

入間市地域公共交通網形成計画 計画目標に対する進捗状況

長期的目標

目標1：様々な公共交通が総合的に連携し、まちづくりの基盤を形成する

鉄道、バス等が総合的に連携を図ることにより、より利用しやすい基幹交通の役割を担うとともに、きめ細やかな交通サービスの提供により、交通空白地域の解消を目指す。

また、超高齢社会への対応として、デマンド交通の導入等の新たな交通サービスの提供や、観光振興における二次交通の確保、近隣市との連携など、様々な手段や効率・効果的な公共交通を総合的に機能させることにより、まち全体の移動快適さを確保する。

【具体的施策】		【現時点の進捗状況】
・多様な移動目的に対応するため鉄道、バス等を総合的に連携させる（入間市駅始発電車の導入や鉄道・バス間のダイヤ連携等）	⇒	・先行で、バス（路線バス、ていーろど、ていーワゴン）の最適化に向けて対応中
・デマンド交通導入に関する調査・検討	⇒	・福祉部局と研究を開始している状況
・観光二次交通としての役割を担うバス等の導入検討	⇒	・未着手
・バス等の近隣市との相互乗り入れ	⇒	・青梅市、瑞穂町への乗り入れ、狭山市のコミバスの入間野田モール、武蔵藤沢駅乗り入れ達成、相互乗り入れは未達成

目標2：持続可能な公共交通を実現する

公共交通を維持していくためには入間市だけの取り組みでは限界があるため、交通事業者、市民、企業にも積極的な参加・利用を促し、受益者負担の観点も含め、公共交通運行の体制及び、財政の両面で持続可能な公共交通体系を構築することを目指す。

【具体的施策】		【現時点の進捗状況】
・「公共交通協議会（分科会含む）」「地域協議会（仮称）」での継続的な検討（短期的目標から継続）	⇒	・東金子、金子、宮寺・宮寺二本木の地域協議会を設置し、ていーワゴンのルートを決定 ・今後も継続的に議論をしていく予定

短期的目標

目標1：バス等の利便性の向上により、市民生活の「移動」を支援する

【具体的施策】		【現時点の進捗状況】
・西武バス、ていーろーど、健康福祉センター行きバスの再整理	⇒	・現在、再整理後の運行形態にて、実証運行実施中（ていーろーど、ていーワゴン）。 ・路線バスにおける見直しも、平成29年3月から実施中。
・バス停環境の整備	⇒	・未着手
・利用促進のための啓発活動	⇒	・公共交通マップ3万7千部、利用促進チラシを作成し、回覧等を実施。 ・利用者促進のためバスの乗り方教室を毎年実施。公共交通利用者イベントの実施。
・利用者意向把握	⇒	・利用者の意向把握アンケート調査や地域協議会での意見の把握、運行事業者からの意見聴取を実施。

目標2：ていーろーど等の運行を長期的に維持する

【具体的施策】		【現時点の進捗状況】
・料金体系の見直し	⇒	・特別乗車証を廃止し、全ての利用者（障害者除く）から料金を収受。
・財源の確保	⇒	・広告掲載協定を締結。（ていーろーど3社、ていーワゴン1社） ・広告主募集のPRを実施。（広報にて）

目標3：市民・行政・事業者が一体となった新たな公共交通の仕組みづくり

【具体的施策】		【現時点の進捗状況】
・近隣市との連携	⇒	・青梅市、瑞穂町への乗り入れ、狭山市のコミバスの入間野田モール、武蔵藤沢駅乗り入れ達成、相互乗り入れは未達成
・地域事業者との連携可能性検討	⇒	・未着手
・地域協議会の設立	⇒	・全地区での協議会は設立できていないため、今後、コミュニティバス等の新規・見直し等のタイミングに応じて設立の検討